

価値関連性分析(非財務価値の可視化)

本項では、従業員をはじめとする「人財」に関連する当社のマテリアリティである「人の尊重」「地域との共生」が、どのように財務的な企業価値向上に結び付いているかについて仮説を立て、その関係性を可視化しました。J-POWERグループは大規模な発電・送変電設備によるエネルギー供給事業を展開しており、これらの設備を適切に運営し、地域社会との共生を担っているのは「人財」だと考えています。「人の尊重」においては、従業員が多様なキャリアや経験を積むことで専門性が高まり、人財の質・量が確保されることで、設備の安定稼働や既存事業への貢献、カーボンニュートラルに向けた事業の変革につながります。また、「地域との共生」においては、国内外の地域共生活動を通じて地域やステークホルダーとの信頼関係を構築することで、既存事業の円滑な継続や新規事業の獲得につながっています。本分析を通じて、両マテリアリティが相互に関連し、地域との共生が従業員エンゲージメントの向上や人財の質・量の確保にも寄与していることを整理しました。当社グループは、今後も人財と地域との共生を重視した事業運営を継続していきます。

